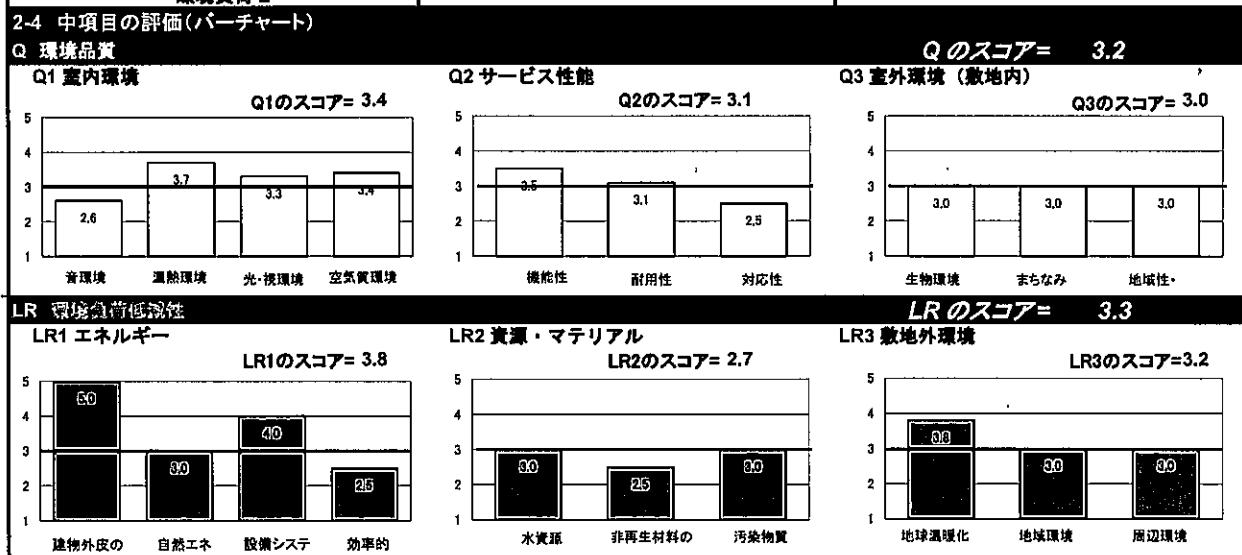
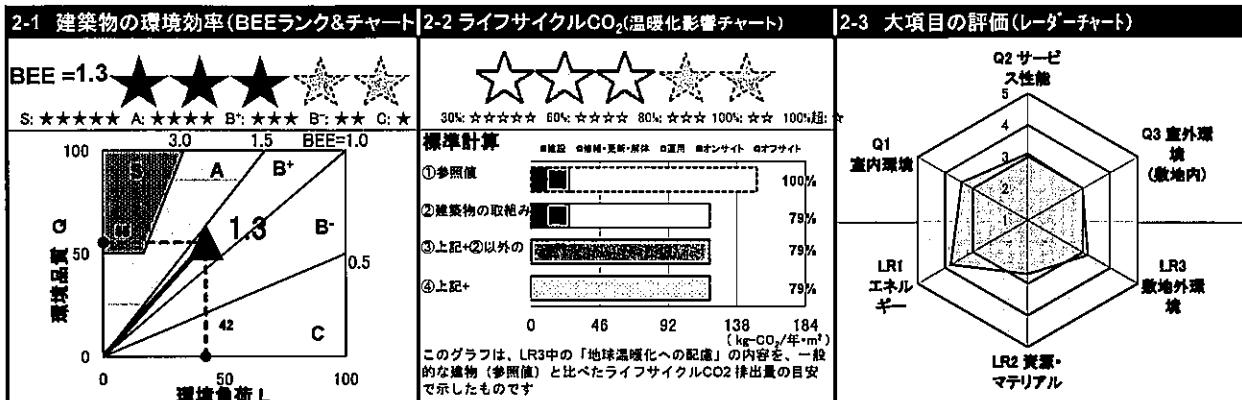


CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	向日市高齢者施設	階数	地上3F
建設地	京都府向日市寺戸町洪川16,17,24	構造	S造
用途地域	第一種住居地域、第22条指定区域	平均居住人員	100人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年9月 予定	評価の実施日	2017年9月7日
敷地面積	2,742 m ²	作成者	株式会社タガミ一級建築士事務所 平田正裕
建築面積	1,301 m ²	確認日	2017年9月7日
延床面積	3,161 m ²	確認者	



3 設計上の配慮事項		
Q1 室内環境		Q2 サービス性能
室内を外皮性能や空調方式、采光率などにより、快適な生活を過ごせるように配慮し、計画する。ほぼ全面に☆☆☆☆建材を使用し、建物内での喫煙を制御している。		広さ・収納性に配慮した内装計画とする。また、模様替えなどをしやすい様、計画する。
LR1 エネルギー		Q3 室外環境 (敷地内)
BP1・BE1共に基準値以下となっており、省エネ性能の高い建築物としている。		特になし。
Q1 室内環境		Q2 サービス性能
室内を外皮性能や空調方式、采光率などにより、快適な生活を過ごせるように配慮し、計画する。ほぼ全面に☆☆☆☆建材を使用し、建物内での喫煙を制御している。		広さ・収納性に配慮した内装計画とする。また、模様替えなどをしやすい様、計画する。
LR1 エネルギー		Q3 室外環境 (敷地内)
BP1・BE1共に基準値以下となっており、省エネ性能の高い建築物としている。		特になし。
Q2 サービス性能		LR2 資源・マテリアル
広さ・収納性に配慮した内装計画とする。また、模様替えなどをしやすい様、計画する。		特になし。
LR2 資源・マテリアル		LR3 敷地外環境
特になし。		特になし。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境荷負)、LR: Load Reduction (建築物の環境荷負低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される